

硫黄山（アトサヌプリ）

硫黄山は、不毛で岩だらけの地表であるため、アイヌ語でアトサヌプリ（裸の山）と呼ばれています。硫黄山は高さ 508 メートルの火山で、500～2,000 年前に形成されました。様々な大きさの 1,500 の噴気孔からは噴煙が出ています。特徴的な硫黄のにおいが充満し、鮮やかな黄色の、噴気孔が、この世のものとは思えない光景を作り出しています。火山性ガスが周辺の植生に大いに影響しています。近くにあるかぶと山では、硫黄山側と反対側の植生が明らかに異なります。また、硫黄山の活発な地熱活動は、川湯温泉の源になっています。

硫黄山での採掘の歴史

硫黄山の硫黄は、染料や燃料のような日用品として、使われていました。1877年に、硫黄山に硫黄の採掘場が作られました。硫黄は電気、マッチ、火薬、殺虫剤、紙のような、様々な製品の製造に使用されていました。清国やアメリカなどに輸出され、川湯温泉を含む弟子屈町周辺地域では重要な産業になりました。1887年、硫黄の運搬のため北海道で2番目となる鉄道が硫黄山に通り、それまでの馬に代わり、利用されました。その後、硫黄の需要は減少し、1963年、採掘場は閉鎖されました。

硫黄山周辺のハイキングコース

つつじが原自然探勝路は、硫黄山麓にある素晴らしい散策路です。川湯エコミュージアムセンターから硫黄山まで、所要時間約60分です。途中、土壌の酸性度が増していくため、植生はがらりと変化していきます。この散策路は、アカエゾマツが密生する森から、ミズナラの森を通り、ハイマツやイソツツジで覆われた低地へと続いています。6月には、イソツツジの花畑が白いカーペットのように広がります。このエリアの散策路には、他にも短いコース（30分）と長いコース（60分）から成る、アカエゾマツの森コースや、JR川湯温泉駅から硫黄山まで徒歩で約30分の青葉トンネルのコースなどがあります。

注意

ここは活火山地帯です。噴気孔から出る湯気は100度以上になります。

安全のため、柵を乗り越えてはいけません。